

## シーガルネット周波数の変更について

J AMMNET関係者の皆さんへ

いつも日々における J AMMNET へのサポート御苦労様です。

さて、現在、MM局を中心とした多くの参加局からは、J AMMNETとしてSGNとOKNの相互間のNET運用が常態化されている昨今、両Netの運用周波数が分離している事についての怪訝視が以前よりあり、懸案となっていましたが、この度、MM局や陸上局より寄せられた御意見を基にしながら、皆さんの御理解と同意を頂き、来月9月より、下記の事由で現在のシーガル Net 周波数 21.382Mhz を変更し、新周波数に移行実施したいと存じます。

変更への事由は下記に記しますので御確認下さるようお願いいたします。

\*\*\*\*\* 記 \*\*\*\*\*

### 経緯と主旨

以前より我々MMNETの無線環境を取り巻く状況はSATホーンなどの普及で大きく変化しています。御存知のようにMMNETもMM局の参加が過去より少なくなっている昨今です。

しかし、まだ多くのヨットマンが、近海航海に必要な船検上、法的に認められたアマ無線機を搭載して、このMMNETを航海中の安全確保と共に、心の拠り所として利用しているのも現実です。そして、既に現在多くのMM局は私達の航行支援活動を利用し、彼等のより確実な安全航行の為、双方のNETを利用しておられるのが当たり前の現状です。

しかしながら、多くの国内外のMM局からは、運用時における煩雑な周波数切替え等もあり、より判りやすいチェックイン方法になるように以前より御意見を頂戴していました。これらに対応するため、我々自体もMMNETを、現在の環境変化に合わせてMM局がより参加しやすい状態に整えてゆく必要があります。また、今回を機に懸案だった周波数分離問題を統一化して、日本のJ AMMNETとして内外に対しても、より明確にアピールして行けると思います。

これにより結果的に訴求力がUPとなり、すべてのNET参加者相互の真の『友好の環』であるコミュニケーションも、更にスケールUPしたものとなり、結果的にJ AMMNETのさらなる維持存続に繋がると考えます。

## 変更理由

1. 荒海等の中、MM局から都度、両Netイン時の周波数変更操作で過去からある多くのトラブルがなくなる。
2. 現在の周波数382MHz付近ではコンテスト等で他局の混信を受けやすく航行データの把握精度が落ちる。
3. 技術的に参加無線局ANTのF0のセッティングが明確化できる。
4. 先の両Netの相互利用が日常化している実態からも周波数分離をしている必要性が薄くなっている。
5. 海外のMMNetと同様、日本の連携MMNetとして国内外から統一した航行支援ボランティア活動と認知され、また訴求しやすい。
6. これを機会にさらに大きな『友好の環』としてMMNET参加者相互のコミュニケーションの向上を図る事が出来る。

**変更新周波数**     **21.437MHz ±5Khz** (OKERANetと同周波数です)  
今後、QSY時の周波数は**21.430MHz**が使い易いと思われる。

**変更日**     **2018年9月1日(土) AM7:00 JST** (Netスタート時より)  
CONDXによるパスが冬型に変化する前に参加者相互の信号認識が新周波数でしやすい。

**お願い**     慣れ親しんだ周波数ですが、まずはMMNETである使命として多くのMM局の立場に立ち、将来においても参加しやすい環境を整える事が必要です。更に今回はJAMMNET更なる継続の為の発展的な存続手法とお考え戴き、皆さんへの説明と共に、理解と同意を頂戴したいと思います。

これにより重大な問題が想定される場合は、8月31日迄に御意見等を賜りたいと思います。

その他 これに伴い、以前、BBSに写真でラフが提案紹介されたALL  
JAMMNETシンボルマークデザインを、JH1NOB西田さんのお力を  
借り、再度モデファイして作製いただき、活動を内外にアピール出来る  
QSLカード的なJAMMNETの紹介ツールを検討中です。そしてこ  
のシンボルマークは今後、多くのツールに使えるものと思いたいます  
近々に御案内致します。

以上

シーガルネットの周波数変更検討メンバー 広報担当

De JH1LSA Tak a HONMA Yokosuka